庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
交流センターのあり方・役割について	1	地域の人間が来やすい、交流しやすい場がベストだと思う。
	2	篠笛を習っているが、多世代のつながりができるような習い事の場をオープンにしていければいいと思う。
	3	障害のある方、日本語が母語ではない方など、隣人の孤立を防ぐ交流の場になっていくと防災の観点からも良いと思う。
	4	「出会える場所」「会わせる場所」という多様な方が利用できる、ゆっくり過ごせる場所であると良い。
	5	特に用事がなく来所する（歩いている）際、色々なサークル活動や催しを開催しているのをわざわざ「見る」のではなく「覗く」くらいが良い。「見に行く」のはちょっと敷居が高いため、「何かやっているな」と覗く程度でいいと思う。
	6	公民館の役割として、人とのつながりを持つことができるのが良いと思う。コワーキング的な「なんとなく来た人がいて、何かを知れる」ことで何かに繋がっていく、ちょっとした挨拶を交わすだけでも良いと思う。
	7	ワークショップに参加する顔ぶれが大体同じなので、いつも施設を利用している人ではなく、あまり関わりがない方も気軽に使えるような、参加できるようなバランスの良い施設が必要だと思う。
	8	細かいことがどうというよりも、（施設について）人が集まりやすい場所を作っていいということがわかりやすい。
	9	例えば〇〇広場のような場所やフリースペース、黄色で示されている部分などは部屋として貸し出すわけではなく、ふらっと訪れた人が使える場所だと思う。現在の中央公民館にはエレベーター前のロビーがそのような場所にあたると思うが、空いていれば誰でも使えるスペースが、今後は大きく整備されるということだと思う。
	10	料金や使い方の仕組みは必要だが、気軽に使いたい人も取り込んでいけるようになると良い。
	11	コワーキング的な部分についても、目的来所ではなくふらっと立ち寄れる仕掛けができる施設であると良い。
	12	公民館のメリットや価値を残す、あるいは、公民館なのにできていなかった部分が新しい制度になったことをきっかけに、進化してほしい。
	13	交流センターの名のもとで公民館で行ってきた活動が阻害されるのは問題であり、うまくいかないと思うし、問題があって欲しくない。
	14	公民館の場合、営利目的での使用不可等、法律上の制約があり事業者が自由に使えないデメリットもある。
	15	公民館が「場所を借りる、貸館」だけにとどまっており、一部しか役割を果たせていない。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
交流センターのあり方・役割について	16	交流センターという新しい名前・新しい場として創設することで、従来のものを変えていくことを目指すことはよい。
	17	日本全国どこであっても、公民館は社会教育施設という縛りがあり、一人マルシェのような営利目的の活動はできないが、交流センターであれば単独で活動をしている方が集まってその場所を使うこともできると思う。
	18	あまりガチガチに縛られない取組ができるようになるという意味で、交流センターを活用できるのは良い。
	19	町で何か始める時にふらっと相談できる場所や、街づくりや活動推進のつながりの起点になるような場所があると良い。
	20	他の地域ではあるようだが、公民館で何かを始め、そのきっかけで自分のお店を持った、公民館から始まったという流れができてもいいと思う。新しい施設でもできればいいと思っている。
	21	開業・起業したい人が1週間程度の「お試し開業」ができる仕組みがあると良いと思う。
	22	キッズスペースが目立つ。軽井沢全体で未就学児や低学年の居場所は増えたように思うが、ティーン（10代20代）の居場所が軽井沢で楽しく過ごせる場所がない。勉強の場として図書館はあるので差別化ができない。新しい交流の機会や価値観に触れて軽井沢にずっといたいと思える場がないと、地域の空洞化につながり弱っていくため、重要だと思う。
	23	中高生、10代20代のやってみたい意見を共有できる場があると良い。相談できる人をつなげる場であってほしい。
	24	現状は、子どもたちが誇りをもって「国際親善文化観光都市」ということを言えるだろうか。地元の良さや子どもの繋がりの仕組みができるような場所であって欲しい。
	25	ある程度往来があり活発な施設にしていかないとと思う。人の往来が発生する施設にしないと形骸化してしまう。人の流れをどうやって作るかを考えていくべき。
	26	子どもたちも出入りする施設とするならば、安全安心を守るためにも、ルールは明確にしてほしい。撮影一つにしても注意が必要で、中高生であってもすぐにTiktokの撮影をしてUPしてしまう子もいて、危険ということへの理解が薄い。そういった撮影に関する部分であったり、ある程度の規定は持たないといけないと思う。
	27	普遍的なルールは持たないといけないと思う。小さい町なので知り合いが多く、役場の人も顔見知りという部分もあるだろうが、ある程度のシンプルなベースづくりは必要だと思う。
	28	学校の情報発信を含め、地域連携の横のつながりが弱いと感じる。住民の方の孤独死について、情報さえあれば生活を変えられて助かったのではないかということもあった。交流センターには地域の情報が集まる場になることを期待する。
空間・諸室について	1	集まれるような雰囲気がある施設であってほしい。
	2	多目的で自由に使えるオープンスペースがあると良い。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
空間・諸室について	3	「こういうことをやっています」というオープンなスペース、「覗いてみようかな」と関心が持てる、利用のハードルを下げる仕組みと使い方が良い。
	4	利用者を限定しないことで「隣の部屋で何かやっているから覗いてみよう」という機会もできるのではないかと思う。
	5	子どもたちの第三の居場所（サードプレイス）のような場所があると良い。
	6	図書館ではあまりおしゃべりができないため、自習室のような中高生が利用しやすいスペースや場所を作ってほしい。
	7	中高生たちが利用しやすい、楽器演奏やバンド活動ができるような場所（防音設備がある部屋）があると良い。
	8	焼き物クラブや工芸、手芸等、活動しているクラブが継続して活動できる場所であってほしい。
	9	音を出せたり、外に漏れないような工作室の工夫が欲しい。
	10	年間通して定期的に使うのではなく、単発のイベントなど確実にその時間を占有して使いたい場合、チラシの仕分け作業や2時間の話し合い（会議）等で場所を確保したい場合に使える場所がないと困る。オープンスペースでは不安定過ぎるので小さい会議室を使いたいと思う。
	11	公民館法で厳しく制約されていた部分や、営利目的利用の禁止による有料コンサートの開催など、交流センターならではの使い方ができると良い。
	12	普段子育て支援を行っているため、小上がりやステップが多く、子どもや高齢者の安全面が心配である。
	13	段差が多いので子供がいると怖いが、年配になると座れる場所になるので良い。
	14	高齢者の利用について、ステップより畳が必要かと思った。
	15	正座が厳しくなってきた高齢者に優しい和室の（掘りごたつ式にする、和室として使用する場合にのみ畳を用意するなどの工夫）を検討してほしい。
	16	館内で飲食可能な場所が分かりにくいので、飲食がスペースがあるとよい。
	17	汗をかく活動をする人がたくさんいると思うので、汗を流すシャワー室があるとよい。
	18	森を活かしきれていないので、外に「森のブランコ」があると良い。
	19	軽井沢としての役場、議会、消防や災害など、色々な要素が絡み合う大きな課題だと思うのだが、防災について危惧しており、予防措置が取られいているのかを気にしている。
	20	施設内から空が見える建物の構造になっているが、温暖化や天候も考慮してほしい。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
活動内容について	1	公民館にあった設備を使っていた内容・活動が止まってしまわないようにしてほしい。
	2	交流センターになることにより、場所の管理をするのが町なのか第三者なのかは分からないが、公民館で行っている講座は「公民館主催講座」であり、教育委員会主催講座を交流センターで開催することはあり得ると思う。
	3	規模の大きい祭り等が消えてしまっているので、駐車場や館内全てを使うイベントができるとよい。中高生の公民館の認知が低いため、彼らの関心を向け、利用機会促進のためにも規模の大きいイベントやを開催するべきだと思う。全館利用するイベントはルールとして開催すべきと思う。
	4	企業の合同説明会を施設で開催すると、キャリア形成につながって良いと思う。
	5	屋外にあるアダプトプログラム、屋外看板による草花栽培活動の開示（発表の場）は良いと思う。「このガーデンは自分たちが作りました」というような形で出していると、駅近辺がきれいになって良いと思う。
開館時間について	1	19時から2時間利用した場合、公民館では21時までに片付けを含めて退出が必要だが、21時には終われないため、実質1時間ちょっとで打ち切り、片付けが必要になるので21時までというのは早い。
	2	ホール使用時間は8:30～22:00までにしてもらいたい。現在は、21:00までだが、他の市町村は22:00まで使えるところが多い。
	3	役場の人の就業時間に合わせての公民館運営なので、日曜日は17:00までとなっているため、月曜日は夜間使用NGとなっているのがデメリット。他市町村のように費用をかけて警備会社等に外部委託をして管理してもらえば、職員の負担も少ないと思う。そういった点では上田の施設は外部委託のため使いやすい。
	4	上田市の公民館は22:00までで、22:00前に退出ボタンを押すと、自動的に警備会社が来て確認してもらえるという非常に進んだ仕組みを採用して便利。
	5	夜の時間帯について、家よりも勉強がはかどる場所という意味でも、学生さんたちが遅くまで勉強等で利用できると良いと思う。
	6	中高生はクラブ活動等で学校帰りの利用が難しいため、土日や休みの日にも利用できる仕組みがあると良い。
飲食・販売のルールについて	1	本来飲食は規約上NGだが融通が利く・臨機応変に対応できるといった方が望ましい。
	2	公民館法の関係で飲食禁止等の制約があるが、交流センターであれば変えられると思うので、宴会等もできるようにあまり制約をつけないで欲しい。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
飲食・販売のルールについて	3	軽く食事ができて、お茶ができるような場所があれば滞在できて良い。
	4	佐久医療センターの1階ロビーのような、テーブルがあって色々な人がくつろいだり飲食ができるスペースがあると良い。
	5	役場に来たらウェルカムドリンクがあると良い。
	6	現在は販売できないルールがあるため、地域の農家や個人の店舗を持たない料理人の方の活動ができない。冬場は寒過ぎてマルシェができないこともあり、地域の方の飲食含めて活動をサポートできるようなルールがあったほうが良い。
予約について	1	予約が必要なスペースだけではなく、空いているときは開放されているような場所が良い。
	2	定例会化している活動もあるので、貸室の事前予約制度は引き続き取り入れてほしい。
	3	大々的にセンターにすることにより利用者が増えて使いにくくなったり、予約が取りづらいのは困る。
	4	大講堂、講義室、会議室等含め、役場の職員の利用、町の人の予約で空きがない等の不便さが出ないようになると良い。（ネット予約での開示も希望）
	5	登録団体の場合は事前に予約されている。アナログかウェブかはそこまで関係なく、予約が入っていれば施設側は空いているところを貸し出せるため、全部をあけておかなければいけないということではない。ウェブ上で空室が確認できればその場で予約ができるので、予約できたから行くという使い方もできるので、汎用のシステムを利用するのも良いと思う。
	6	町外住民も利用できるよう、使用したい施設以外の空室も確認・活用できるように、町内施設の空き状況確認が可能なウェブ予約を導入してほしい。
	7	システムやルールについてはウェブ予約や混雑状況がわかるシステムがあると良い。
	8	現在は町内の施設ごとに予約がバラバラであり、それぞれの施設のHPから行わなければならない。木更津市のように、１つのHPの中で全ての施設予約ができる一元化したシステムがあると、町民は助かる。この機会に対応してもらいたい。上田市も一元管理を導入している。
	9	ウェブ予約ができればいいと思う。
	10	ネット予約ができるようになると良い。
	11	予約についてもネット予約ができ、かつクレカ決済を利用できると良い。
	12	ホールの予約について、現在は電話受付のみであるが、風越運動公園の体育館のように、ネット予約と当日空いていれば機械で受付できる仕組みを導入してもらいたい。
	13	予約したのに来ないという問題も発生するのでどこで決済するかといった課題もあると思う。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
予約方法について	14	現状は自ら収集しないと情報を得られない場面が多く、手軽なアプリがあれば軽井沢町以外の地域・人にも利用できるため、観光案内もバスや施設予約、災害情報等なんでもアプリでできるとよい。
	15	中軽井沢では県外の方もたくさん利用登録をされていると聞いたが、観光客の方が利用できるかどうかが気になる。観光客にも是非（施設に）入ってもらいたいが、内心住む側からすればちょっと怖い部分がある。その場ですぐに使えることも大切だが、何があるかわからないので、簡単な登録をしてもらえば管理もできるし、利用者データの収集にもつながる。怪しい人がいないといった安心にもつながるので、登録システムを導入してもらいたい。
料金設定について	1	公民館機能として有料・無料の部分と、館機能としての有料部分をどのように組み分けていくのか。
	2	基本的に部屋を借りるのであれば料金を徴収するべきだと思う。フリースペースで行う場合は誰が何をしてもいいと思うが、部屋を借りる場合は（料金を徴収しないと）区別がつかない。
	3	団体についてはもっとお金をとってもいいと思う。費用を取ることで施設運営をある程度賄うという考え方で対応すると良いと思う。
	4	軽井沢町は日本の中でも財政に困っていない町であり、高い税金を払っている人も多いので、利用料金は無料のままでいいのではないか。
	5	有料にしなくてもいいと思う。無料で使い続けたい。
	6	今まで無料で利用していたため、利用料金が無料でなくなると活動方針を考え直さなければならないのが困る。
	7	「中央公民館登録団体」という仕組みがあり、団体メンバーのうち町民が何割という基準を満たして登録している団体は基本的に無料で利用できる形になっているが、この仕組みが撤廃されて「減免扱い」になってしまうと何割かは負担額が発生するため、登録団体にとって圧倒的に不利なスタートになってしまうため、横スライドで移行してもらいたい。
	8	お金のハードルがある中高生でも利用できるような料金設定やサポートがあると良い。
	9	利用料金について、減免基準などはまだ決まっていないと思うが、子ども食堂や高齢者などについて、一律のルールを検討されるのか、別途検討するのかが気になる。
	10	「登録団体」の人と「チャレンジショップ的な営利目的の人たち」の間に、「ただの町民」という層がある。例えばお母さんたちが集まり、日頃の雑談をするような場合も大多数だと思うので、その人たちが金額だけではなく色々な意味で使いやすい場所であって欲しい。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
料金設定について	11	ホール利用料金は、現在無料で使用させてもらっているが、新しくなったらそうはいかないとは理解している中で、運動公園のように町民と外部での区別を設けていただきたい。金額の再検討を行い妥当な方法を検討してほしい。
	12	営利目的で使用する人がいてもいいが、その際はしっかり料金を徴収すべきで、「営利目的」「町外」「町民の登録団体」は明確に分けて料金を設定すれは良いと思う。
	13	登録団体の仕組みは良い方法ではあるが、「お眼鏡にかなった人たち」「この団体なら間違いないから良い」という扱いになる。他方でそうではない方もたくさんいるため、登録団体か否かで料金設定をわけないほうが望ましい。
	14	事務処理など物理的な理由で（料金設定を）特定する必要があるかもしれないが、その「特定」の範囲をできるだけ広く取ったほうが良い。
	15	チャレンジショップのようなものをこの場所で行う場合は営利目的のため、料金は支払うべきだと思う。「チャレンジショップ」という枠組みであれ、一人ではなく団体になって活動しているという形であればまた見方が違ってくる。軽井沢の特産品や植物、野菜等を扱う場合もまた、違うと思う。
	16	現在は、販売をできる場が少ないが、人が使うための地域活動促進という形でルール化して販売できる場ができるとよい。販売しないで集まれる場所はあるが、販売することでもっと活性化できることがある。ルールの作り方は慎重にやらなければならないと思うし、柔軟にしたほうが良い。
	17	部屋を借りる際に会費を徴収する場合もあるが、お茶であれば材料費だけである。基本的に生涯学習としての枠組みで対応する部分が多かったと思うが、交流センターになった場合にその面がなくなるのではないかという懸念がある。
	18	「お金を集めることが悪い」ような扱いになっているが、活動を継続するためには資金は必要であり、その点はもう少しフラットにできるのではないかと思う。
環境（音のルール）について	1	基本的には共有スペースでいいと思うが、静かにしたい方もいれば、声や音を出したい人もいるので、その部分での両立（同時開催）が難しい。
	2	誰でも来所できる場所なのに「おしゃべり禁止」は現実的ではないが、かと言って「何でもあり」ではない。常識的な範囲でおしゃべりをしたり、盛り上がっている方がいても、排除しないような場所が望ましい。
モノ（設備・什器・備品）について	1	ホール備品について、可能な限り備品倉庫はホール近くに設置し、ホールに連動した備品を置いてもらいたい。
	2	プロの方は専門的な機材が必要になると思うが、中高生が発表の場として使用できるような、基礎的なPAとマイクくらいは設置・管理してほしい。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
モノ（設備・什器・備品）について	3	個人的にはホールの音響備品については費用が大変かかるため、使う団体が頼んで持ち込んだほうが公平感がある気がする。
	4	公民館側では技術的なことに対応して管理できる方がいない。できればきちんとした機材を用意し、管理体制まで作ってもらいたい。いい機材、いい音響環境がまでケアできると良い。管理には専門家に入っていただけるといいと思う。
	5	「軽井沢彫り」を楽しんでいるが、今後も同好会の活動を継続したいので、会議室のような場所ではなく、作業ができる工作室のような場所を設けてほしい。
	6	軽井沢彫りの重たい工作機械を括りつけておける作業場所と、頑丈なテーブル、工具の置き場所、20名ぐらいの団員たちが入れる作業場所が必要。
	7	新しい工具、木工ができる場所、鉄製の道具等、機械を室内に置いて置ける場所が必要。
	8	フードバンク軽井沢で行っている「子ども食堂」の活動で中央公民館の調理場を使用しているが、1回で120人程の利用があるため、ある程度のスペースが必要になる。子ども食堂の活動が継続できるような調理場が必要。
	9	子ども食堂活動を行う場合なども含め、他のグループも共同で使用しても困らないような食材を保管できる場所が欲しい。
	10	災害時にオール電化で困る例もあるので、検討が必要。
	11	防災にも関連するが、災害時に電気がなくてもガスが使用できればある程度対応できるのではないかと思う。ハード面にも関連すると思うため、気になる。
	12	オール電化にした場合、調理場の利用に制限が出てしまう懸念点がある。
	13	現在の公民館の調理台は高さが高すぎるため、適切な高さの最新の調理台を設置してほしい。
	14	会議や外国人との交流の機会をホテルで行うのではなく、町として茶道等でもてなせる設備を充実させてほしい。
	15	屋内の活動だけでなく、ステージ等を屋外で出して使えるような想定、机などの備品も屋外で使用できることを想定して準備してほしい。
	16	長机とは別に個人机のような一人ひとつずつ使用できる机があると中高生が学習できるので良い。
	17	ハード面での制約もあると思うが、人数に制限がないようにテーブルや椅子など什器で対応できる部分については費用をかけて対応してほしい。
	18	備品について、机と椅子の数は現状と同数は絶対必要になる。
	19	備品については椅子が座りやすいと良い。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
モノ（設備・什器・備品）について	20	机が軽く移動しやすい備品がいいと思った。
	21	小さい団体の発表の場として一部分だけ借り、活動内容を知ってもらえたらいいと思っており、その際にパーテーションで部分的に仕切りができればいいと思う。
	22	施設内（活動時）にパーテーションがあれば、来所者が覗いたり離れたりもできると思う。
	23	椅子やソファ、機材を自由に動かせないルールがあったので、部屋ごとではなく全体で管理する館全体の備品等があると良い。
	24	車いす用の設備以外にも施設利用の際の体調にも配慮した駐車場を用意してほしい。
ヒト（スタッフ・専門家の配置）について	1	現在、備品管理をしている方がいないので、利用団体が専門家を帯同して開催している。団体によって管理の方法・熟度がまちまちなため危険である。
	2	例えば中高生が何かを行う際に、専門家の方とのコネクションを持っていて、話を繋げられるようなコーディネーターの役割がいると、住民の文化活動を促進できるのではないか。
	3	コーディネーターについて、地域連携や音楽交流など、専門家とつながるコンシェルジュのような役割の人がいればいいと思う。
	4	フレキシブルな空間設定だと思うが、色々な活用方法があるという理解を深めるという意味でも、専門家の介入がないと使いこなせない気がするので（技術的にも）自由で楽しい使い方ができることを促進できるスタッフがいて欲しい。空間を活かした企画できるといいと思った。
	5	ある程度コネクションがありプロデューサー的な活動を行っている人が集まって、イベントの際に情報交換等を行い、お互いアイデアを出し合っていくことで、（専門家や機材等についての）ネットワークも提供できると思う。
	6	軽井沢の町のピースとして、創作や交流、発表の場となる公共施設が欠けていると思う。創作や交流・発表の企画等の専門家を置いてほしい。交流センターを新設するのであれは、町の施設ではない大賀ホールはではなく、ここが中心となり、ここで色々なことが構築できることが大事だと思う。
	7	町のリソースを使って学べる仕組み、世界のこと、日本全国のことを知ることができる場所も必要であり、その対応として専門家の方も必要かと思う。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
ヒト（スタッフ・専門家の配置）について	8	中高生が夜利用するニーズがあるので、大学生のスタッフを入れるのもいいかと思う。大学生は、小中高生との年齢差も近く、学生自身のキャリアを考えることにもつながると思う。高校生は、大人からの声掛けは警戒しやすいので、友達同士や年齢の近い大学生からのアプローチの方が面白いと思ってもらえるのではないか。
	9	人の配置の面で難しいところはあると思うが、「中高生が集まる施設」にするのであれば教育委員会や社会教育関係の方が関与しないと、ただ集まる「場所貸し」になってしまうため、公民館機能がないともったいない。
しくみ（管理方法）について	1	外部委託にするとプロの団体だけが使うようになるということもありがちなので、「誰でも使える」ということが本当に大事だと思う。
	2	管理者については、役場職員でもいいのではないかと思う。
	3	中軽井沢駅の点灯式で行っているようなPAはいい腕や備品を持っているので、安いところを探して外部委託するのもいいのではないかと思う。
	4	行政による運営では、職員の業務時間の都合による利用時間の制限やルールに縛られる部分がある。行政はルールを守る立場であることが望ましいため、人の流動や文化を生み出すためには、ある程度民間の力が必要である。
	5	料金体系の面で、民間に管理を任せる指定管理制にした場合、指定管理者の利益の部分に対して利用者の利用料負担が増えると定期開催の予約・活動ができなくなってしまう可能性が出てくるのは本末転倒。
	6	方針の部分で、館長の人柄などでルールが変わっているので、館長や教育課の担当の方が代わってもブレないルールにしていただきたい。企画運営の方針をきちんと作ってほしい。
	7	条例では、教育長だけが決められる特例ルールがあるが、何が特例なのかも定められていない。教育長まで話が上がっていかず、館長レベルで却下されてしまうこともあり、属人化していて良くない。
その他	1	ワークショップや会議で積極的に意見を出す方の意向だけを反映するのではなく、表明しない方の意見も取り入れてほしい。
	2	ワークショップの結果がどう生かされるかのアナウンスがない。これを基準にした上で次回の打ち合わせを行う等、情報共有をしなければならないと思う。
	3	意見を出してもそれを活かして発信してくれないと、意見を出す人も少なくなってしまう。アナウンスをしてくれないと、意見が通るという意識がなくなってしまう。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
その他	4	具体的に公民館を利用している団体個々に参加を呼びかけてもらった方が、本当の声（希望）をすくいとることが出来ると思う。
	5	もう少しいろんな人が来ると良い。平日夜の風越公園で同じことをやってもいいのでは。
	6	WEB募集をかける時に簡単な括りがあったほうが良いと思う。例えば◯歳以上とか、公民館を利用したことがないとか。
	7	出た意見がどのように生かされたのか。ご自身の意見が反映された実体験が、今後の町へのコミットにつながる。とても大切なステップだと思う。
	8	町民の意見結果を公開する。
	9	ファシリテーターやとりまとめは中立に。とりまとめの段階でそんたくしないで欲しい。しっかり町のこれからの100年に向けたハード＆ソフトを考えてほしい。
	10	それなりに出席者の意見が聞けて良かった。でも、これがどのくらい反映されるかは、今までも含め期待は薄い。 主催者の意図が見えない。今日の意見を真剣に受け止めているのであれば、これに関してはこのように考えていると　いうような回答が欲しい。
	11	現町長になってから、毎日LINEの発信などもしてくれいている。しかし、御代田や佐久のように、町長がある程度言葉を選ばずに発信してもいいと思う。
	12	軽井沢の情報発信として広報軽井沢のメールだけでなく、アプリ開発を進めてほしい。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
その他	13	行政における情報発信アプリについて、情報を「取りに行かせる」のか、「届ける」のか。 最近、アプリケーションの開発について考える機会があった。 行政の情報発信を考えるとき、私は、「情報を置く設計」と「情報を届ける設計」は、そもそも発想が違うのではないかと思っている。 情報を掲載して、「必要な方は、ここから探してください」という設計。これは、情報を取りに行ってもらう設計。 一方で、「この人はいま何を必要としているのか」を考えて、必要な情報が自然に目の前に現れるようにする。こちらは、情報を届ける設計。 ディズニーやユニバーサル・スタジオ・ジャパンなどのアプリを使うと、この違いを感じる。 使う人が「次はどこを押せばいいんだろう」と考える前に、その人の状況に必要な情報が配置されている。 これは、ボタンのデザインや画面のきれいさの問題ではなく、アプリを最初に設計するときの考え方の違いなのだと思う。 そして、行政の情報発信、とくに防災を考えると、この違いはとても大切なのではないか。 地震が起きたとき、「LINEを開いて、どこに情報があるのか探してください」ではなく、「いま、この人に必要な情報をどう届けるか」から設計する。 利用者に情報を探させるのではなく、情報のほうから利用者のところへ来る。 アプリを作る側の方には、ぜひ一度、「私たちは、情報を置いているのか。それとも、情報を届けているのか。」というところから考えてみてほしいな、と思う。 これは、単なる「使いやすさ」の話ではない気がしている。
	14	町役場はどの課も人数が少ない。持っている情報量が少ない場合もある。
	15	ネーミングライツのような形でスポンサー企業を募り、お金を生み出すのが良い。
	16	子ども食堂については、子どもより高齢者の利用が多い。
	17	子どもたちの相談に乗ってくれる「子ども町役場」の内容が知りたい。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
その他	18	全国的に価格高騰の影響により庁舎計画が中断したり見直しが起きていることも踏まえ、こういった箱物にでかい金額をかける必要があるのか疑問である。
	19	国際情勢等を見ていても予測不能な事態が起こっている中、将来のヘッジも考えてあまりでかくやらないでもう少しミニマルにやったほうが良い。
	20	予算の割り振りも、こういった庁舎に対してではなく高齢者問題に重点を置いてほしい。
	21	福井には1階に公民館のような施設、上階に子供たちの学習施設、交流の場、店舗や食堂も入っている5階建てくらいの雑居ビルがあったが、私自身、公民館と交流施設の違いを十分に理解していなかった。
	22	ソフト面も盛り込んだ新しい庁舎になってほしい。
	23	ハードよりもソフトがいかに100年サステナブルにフレキシブルな運用ができるか考える。
	24	10代20代の町人口の空洞化を防ぐ対策としてのプログラム機能をつくる。
	25	まちの地域課題やポテンシャル、リソース（これらの洗い出しは徹底してやる必要があるのでは？）を活かせる方針をつくる→方針に合わせた運営体制を民間も入れてつくる→町民が活発に活動し人の流動性をつくる　この仕組みをしっかり実現する。低予算で高い質、高い効果の運営ができる。
	26	ルールと支援だと何を伝えていいのかわかりずらかったのでもう少し具体的な部分だとよかったと思う。
	27	漠然としていてあまり意図がつかめなかった。
	28	進め方はまあ良かった。
	29	意見のいいやすい進め方だったので、良かったと思う。
	30	グループワークの時間も十分あり、シンプルだけど、とても話し合いがすすみ、良かったと思う。
	31	ブロックに分かれたブレーンストーミングに、ひとりのコンサルタントがついていただき、話をしやすいようにしていただき、ありがたかった。
	32	9月の意見交換会では、最初からグループ分けされていた。なぜこのような分け方であったのか、説明があっても良かったのではと思う。 次回はどういう理由でグループ分けされるのか、事前にお知らせしてほしい。
	33	内容を理解している人、そうでない人の濃淡があり、現在地の共有に時間が取られたのがもったいないと思った。 理解度別にグループ分けして議論したり、まずはどうしてもということ聞いていく方法でも良いと思う。
	34	資料はわかりやすく作られていた。また、タイムテーブルなども細かく設計されていて、円滑に行われたと考えている。

庁舎改築周辺整備事業『第１回 交流センター等の利活用・運営を考える意見交換会』意見一覧

カテゴリー		意見等
その他	35	配布資料の右端にメモ欄が欲しかった。
	36	普段知り合う機会のない方々と意見の交換をさせてもらい勉強になった。
	37	いろいろな方にお会いできたこと自体に感謝。
	38	誰もが使いやすい、を大切にしていただきたい。 現状は一部の人が使いやすい、一部の人の儲けのための、という印象が住民の中にあるように思う。 運営を外部に委託するのは諸刃の剣です。 軽井沢町のまちづくりと密着した施設であるためには、公が関わる必要があるように思う。 人員が足りないからという理由だけでは、民間事業者が運営を担い舵取りをするデメリットを払拭できないと考える。 誰がそこにいるかで、人が集まるかどうかは変わってくるため、熟慮いただき、またその思考プロセスも共有いただきながら、検討と決定をしていただきたい。
	39	指定管理者制度導入には反対だ。 ・採算性優先：これまでの公民館的機能が減り有料化される ・利用の公平性：管理者に近い団体に手厚い便益を与える恐れ ・撤退リスク：採算悪化や他事業へのシフトによる事業者の交代 ・ガバナンス不全：町役場の丸投げ体質が助長され職員の成長をも阻む
	40	現計画のように庁舎と交流センターを合築せず、庁舎・議会棟と交流センター（公民館を改修）を分棟するのが合理的だと考えている。従来の公民館から営業可能な交流センターに転換しても、指定管理者制度を導入しなければならないほどの複雑な運営にはならない。